

第4学年 道徳科学習指導略案

2022年1月22日(土)

- 1 主題名 友だちとしんらいし合う B 友情・信頼
- 2 教材名 「大きな絵はがき」
- 3 ねらい

友達と互いに信頼し合い、助言し合いながら、友情を深めていこうとする心情を育てる。

4 指導内容

	○発問	◆指導上の留意点
導 入	○「よい友達関係」とは、どういう関係だと思いますか。 ・困っていたら、助け合える関係。 ・悪いことをしていたら、注意し合える関係。	◆考えを発表することで、ねらいとする価値への問題意識を高める。
展 開	「大きな絵はがき」を読んで話し合う。 ○転校していった仲良しの正子から絵葉書をもって、広子はどんな気持ちになったでしょうか。 ○あなたが広子と同じような絵はがきをもらったら、どうしますか。理由も考えましょう。 ○どんなことを考えながら、広子は、返事を書き始めたのでしょうか。 ○あなたは、これまでに友達に注意したことがありますか。それは、どんな理由からですか。	◆教材提示の前に定形外郵便を見せて、料金不足について説明することで、教材の理解を助け、自我関与を高める。 ◆絵を提示しながら読み聞かせをする。児童に自分事としてとらえさせるため、教材分は途中まで読む。 ◆心の葛藤場面を設定し、「よい友達関係」と考えたときにどうしたらよいかを考えさせ、ワークシートに記入後、クラス全体で交流する。 ◆教材の途中からを読み、広子がとった行動を確認する。そして、その理由について考えさせる。 ◆自分自身の生活を振り返る場面を設定し、自分の友達関係について見つめなおさせる。
終 末	4 教師の説話を聞く。	【評価の観点】 互いに信頼し合い、友達の立場に立った助言をする意味について考えることができたか。

4の1



きれいな絵葉書を送ってくれた友達に、料金不足だったことを伝えるか、伝えないか。主人公の広子の母は「伝えないほうがいい」兄は「伝えるべきだ」と意見が分かれます。当然、クラスの中でも意見は二分しました。「友達が同じ間違いをしないように伝える」「送ってくれた気持ちを壊したくないから伝えない」一つのテーマをもとに、クラス全体で共に悩むいい機会でした

4の2

友達から送られてきた絵葉書が料金不足だったことを友達に伝えるのか、主人公の広子が迷っている場面まで教材文を読み、自分だったらどうするか子供たちと考えました。「せっかく送ってくれた友達をがっかりさせたくないから伝えない。」「次も同じ間違いをしないように伝える。」などと意見が分かれました。お互いの理由を聞いて話し合い、よい友達関係とはどのような関係か考える機会となりました。



4の3



仲良しだった友達が料金不足のはがきを送ってきたときにどんな返事を書くかについて考え、話し合いました。子供たちは自分事としてしっかり捉え、よく考えながら意見を言う様子が見られました。

ほとんどの児童は、料金不足だと伝えると答えていました。その理由の多くは、「次に間違えないように」でした。友達のことを想っての意見から、「よい友達関係」についても再確認できたようで